

会議結果報告書

作成者:総合政策課 前田

報告日:令和8年3月26日(水)

会議名	第53回広陵町地域公共交通活性化協議会
会議日	令和8年5月19日(火) 10時00分から10時45分まで
場 所	広陵町役場 大会議室
出席者	別紙のとおり委員17名 都市整備部 谷野部長 都市整備課 岡本課長、東技師補、前田
議題 (1)令和7年度広陵町地域公共交通活性化協議会決算書について 資料1-1、1-2に基づき説明→意見・質疑なし 承認 (2)令和7年度広陵町地域公共交通活性化協議会事業報告書について 資料2-1、2-2に基づき説明→意見・質疑あり 承認 ○広陵町議会 青木議長: 中央幹線の工業団地の乗り入れについてどのように考えているのか? →前田: 現在、近鉄箸尾駅(北側)からのアプローチとしては、企業輸送バス等の導入検討を行っている。広陵元気号中央幹線は近鉄大和高田駅発着であるため、近鉄大阪線沿線の方については中央幹線での通勤も考えられるの乗り入れを検討する。 →青木議長: 箸尾工業団地の目的には近鉄箸尾駅の活性化もある。マイカー通勤ではなく、極力公共交通での通勤で電車を使って欲しいと考えている。町として、受け皿となる交通手段を現実的に考えていく必要がある。 →前田: 今年に入ってから、箸尾工業団地進出企業の代表である広陵化学工業(株)の代表を訪問して、今後検討を進めて行くに当たっての協力依頼をしている。今年度、従業員の通勤手段等についての調査を実施していく予定である。	

その他

○広陵町婦人会 古田会長：

箸尾工業団地の従業員数やどこから来る方が多い等は分かっているのか？

→前田：

今年度、調査を実施していく予定である。

→広陵町議会 青木議長

最大約 700 人を見込んでいる。可能な限り公共交通を利用してもらうようお願いしている。

→乾副会長（広陵町商工会 会長）

近鉄箸尾駅からの交通手段は、企業が独自の専属バスを用意することも検討されると思う。近鉄さん（近畿日本鉄道株）も町内の愛和さん（株愛和）にも儲けてもらわないといけないと思う。

→吉村会長（広陵町 町長）

企業の専属バスも公共交通として捉えて、今後よりよくなるように検討していく必要があると思うが、事務局としてどうか。

→前田

町長ご発言のとおり、企業輸送バスも含めて企業の方々と意見交換をして、最適な通勤手段のあり方を検討して参る。

事務連絡

○岡本課長

次回は令和 9 年度の国庫補助金（地域内フィーダー系統確保維持改善事業）申請のための、地域公共交通計画認定申請について書面で審議いただく予定。

（以下余白）

（以下余白）